

## ●一般型

(平成15～17年度)

## 久留米エリア

テーラーメイド型医薬・診断薬及び  
疾病予防機能性食品の開発株式会社 久留米リサーチ・パーク  
〒839-0864 福岡県久留米市百年公園1-1  
TEL. 0942-37-6366

## 核となる研究機関

久留米大学、九州大学、福岡県工業技術センター生物食品研究所



- **主な参加研究機関** 産…(株)グリーンペプチド、クロレラ工業(株)、(株)同仁化学研究所  
学…久留米大学、九州大学、九州工業大学  
官…福岡県工業技術センター生物食品研究所、福岡県森林林業技術センター、(独)産業技術総合研究所九州センター

## 都市エリア産学官連携促進事業における代表的な成果

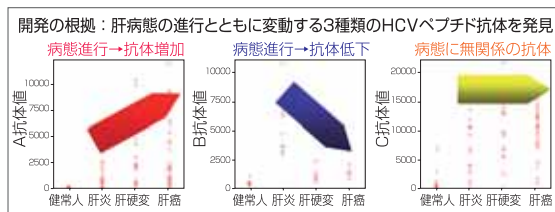
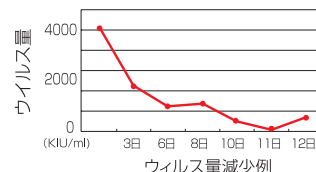
## 1. ペプチドワクチン

- ペプチドワクチンでHCVウイルス量の減少と安全性を確認(世界初のワクチン治療法)  
臨床試験でウイルス量の減少と安全性が確認されたことから医薬品としての実用化へ大きく前進した。大学発ベンチャーを設立した。

- HCV感染診断と病態進行予測可能な診断キットの実用化  
HCV感染に特異的な抗ペプチド抗体及び病態進行に関連する抗体を発見し、感染診断と予後予測可能な診断薬の実用化へ向けて大学発ベンチャーを設立した。

## 2. 霊芝利用機能性食品の臨床試験で排尿障害改善効果を確認し商品化を予定

ボランティアによる科学的臨床試験で排尿障害改善効果と安全性を確認し、非臨床および臨床試験をほぼ完了した。健康食品としての販売と特定保健用食品の申請を準備している。



肝病態進行とともに変化するペプチド抗体



霊芝由来機能性食品試作品

## 事業終了後における取り組みについて

## (共同研究)

## 1. 肝癌再発防止を目的としたテーラーメイド型ペプチドワクチンの開発

都市エリア産学官連携促進事業一般型に引き続き、発展型においても主に探索的臨床試験を行ってテーラーメイド型ペプチドワクチンの研究開発を継続している。

## 2. C型肝炎ウイルスに対する新規診断薬と治療法の開発

C型肝炎ウイルス感染の診断薬としての商品化に向けて、地域新生コンソーシアム研究開発事業(経産省)などの事業を活用し研究開発を継続している。

## 3. 霊芝中の生理活性物質を利用した特定保健用食品の開発

臨床で適正用量設定試験・有効性確認試験・過剰摂取試験を完了して健康食品としての商品化を急いでおり、同時に特定保健用食品としての申請も準備中である。



遺伝子導入試薬(HilyMax®)

## (可能性試験)

可能性試験として実施した18課題中、産業化の可能性有りと判断した12課題については、別の事業にて研究開発を継続した。事業終了後から現段階までに2件の商品化(遺伝子導入試薬・ラクトフェリン入り化粧品)と2件の試作化(DNAアプタマー、睡眠時無呼吸症候群治療用口内装置)、2件の起業化を達成している。

ラクトフェリン入り化粧品  
(Up-Well EXTRA®)